

令和元年度第2回新潟市新津鉄道資料館運営協議会会議録

- 日 時：令和元年 12 月 20 日（金） 11：00～12：15
- 会 場：新潟市秋葉区新津地域学園 301 研修室
- 参加者：新津鉄道資料館 金山委員、帆苺委員、南雲委員、沢野委員、野本委員、  
奥原委員、斉藤委員  
歴史文化課 小沢課長  
新津鉄道資料館事務局 高山館長、加藤副館長、岩野学芸員  
(以上 10 名)

■ 傍 聴 人：0 人

■ 資料配付：新津鉄道資料館運営協議会次第及び別紙 1～6

■ 意見聴取：1 報告事項

- 1) 令和元年度前期入館者数実績報告
- 2) 令和元年度前期事業報告
- 3) 令和元年度前期アンケート集計結果報告
- 4) その他

2 協議事項

- 1) 令和元年度下期事業計画
- 2) 令和2年度事業方針案および事業計画案

(事務局から案件を説明し、その後に意見聴取をおこなった)

高山館長	<p>これから、令和元年度第2回の新津鉄道資料館運営協議会を開会させていただきます。私は、司会を務めます新津鉄道資料館の高山です。よろしく願いたします。</p> <p>それでは、歴史文化課の小沢課長からご挨拶申し上げます。</p>
小沢課長	<p>皆さんこんにちは。皆様方におかれましては、年末のお忙しいなか、当館の運営協議会にお越しいたきましてありがとうございます。また日ごろは、当市の歴史文化行政にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。</p> <p>さて、山手線を走っている電車は新津で造られています、どのくらいの編成数で運用されているかご存じでしょうか。50編成なのだそうです。山手線は1編成11両で、一部中古の車両を差し引いても500両以上が新津で造られています。この辺りでは、造られた電車の試運転を見かけることがありますが、実は先週で山手線向けの電車を造り終えたそうです。横須賀線を新しくする計画があるらしいので、今度は横須賀線向けの電車の試運転が見られそうです。このように新潟・新津は首都圏の足を支えています。また新潟県でつくられた電気で首都圏の電車が動いることなど、地方が首都圏を支えているということを時折思い起こしていただければと思います。本日の運営協議会、いろいろとご意見をいただければと存じます。よろしくお願いいたします。</p>
高山館長	<p>それでは本日の委員会の日程ですが、次第に基づき進めさせていただきます。概ね12時15分ごろには終了とさせていただきますと存じます。</p> <p>運営協議会委員では、資料館の運営・事業について幅広いご見識をお持ちの</p>

	<p>皆様からいろいろな意見を述べていただきまして、それらを参考にして、より良い資料館運営へ行ってまいりたいと存じますので、忌憚のないご意見をいただけますようお願いいたします。</p> <p>それでは、金山先生の方に座長をお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。</p>
金山委員	<p>金山です。お久しぶりです。今回は6月だそうで、あっという間に感じています。先日、他の博物館を運営する理事会に出席しました、そこで出た事例などで活かせるものがあればご紹介したいと思います。それでは、限られた時間ではございますが、議事を進行させていただきたいと思いますので、皆さんよろしくご協力のほどお願いいたします。</p>
金山座長	<p>では事務局から、令和元年度上期の実績・事業報告を一括して説明をお願いします。</p>
加藤副館長	<p>それでは別紙1をご覧ください、令和元年度上半期新潟市新津鉄道資料館主催事業の報告です。件数がいっぱいありますので、主なものを説明し、逐一の読み上げは省略させていただきます。</p> <p>では、3番の実物車両公開事業です。今年度からE4系新幹線の運転席の公開を始めました。後ほど実績でも申し上げますが、GWと重なり、かなりの来客数につながりました。</p> <p>次に12番のサンクスフェアです。今年度は7月13日・14日の2日間で開催し、5,179人の来場がありました。初日土曜日は約2千人、2日目の日曜日は約3千人でした。</p> <p>次に、サンクスフェアと同時スタートの13番・特別展示「鉄道で旅する新潟～鉄道旅行と観光列車～」です。今年度、新潟・庄内地区でJRのディスプレイネーションキャンペーンが開催され、これに向けて新たに観光列車が造られたことに絡めて開催しました。またこれに関連しまして、22番の特別展記念講演会「新潟支社の乗って楽しい列車の紹介」として、JR東日本新潟支社の車両課長様からご講演いただきました。</p> <p>15番のミニSL愛称募集は、平成29年度に当館にミニSLが来てから、愛称がなかったのですが、より多くの方から親しんでいただけるよう、鉄道のまち新津にふさわしい名前を と募集しました。北は札幌市から南は長崎市まで46件の応募がありました。結果「にいつきてきち号」とさせていただきます。これは、にいつ鉄道商店街のキャラクター「にいつきてきち」というキャラクターの名前と同じなのですが、同じ名前を使うことに問題なしということで、採用させていただきました。南魚沼市の5歳の男の子が、この名前で応募してくれていまして、サンクスフェアの初日に来ていただき、こども駅長の制服を着て一番列車の出発合図をしていただきました。</p> <p>次に入館者実績についてご説明いたします。</p> <p>別紙2-1をご覧ください。令和元年度上半期新潟鉄道資料館入館者実績は42,236人で、前年同期と比較しますと、5,220人約14%増となりました。</p>

	<p>別紙2-2は月別の実績です。4～5月でGWの10連休の効果が大きく出ています。</p> <p>別紙2-3をご覧ください。ミニSLの実績です。今年は先ほどご説明しましたように、愛称が決まり、新しくヘッドマークも付けて人気であったのですが、9月15日の運転を最後に故障し、部品が古すぎて調達の目途が立たず、そのまま運休となりました。修理方法を検討した結果、動力源となる圧縮空気をつくるエンジンとコンプレッサーをセットで入れ替えるのが良いだろうということになり修理を行っているところです。今年度の乗車人数は、11,231人と有料・無料どちらも増となりました。特に、小さなお子様連れのご家族には人気のものですので、春までにしっかりと修繕し、お客様のご期待にお応えしていきたいと考えております。</p> <p>続きまして、別紙2-4は、新津駅東口に設置しているサテライト「ていしゃば」の実績です。今まで、新津駅東口の北側階段の下で開設していましたが、今年3月いっぱいと同じく東口のびゅうプラザ窓口が閉鎖になった跡地を、秋葉区が観光案内所として開設することとなりました。この案内所は、故障していた本物のSLの復活兼運行開始20周年イベントに合わせてオープンしました。駅東口で観光案内所と当館へのサテライト施設を別々に置くよりも、一緒にしたほうが、訪れる方にとって利便性が良いであろうということで、8月から当館のサテライトがこの観光案内所に合流して運営しています。</p> <p>ここでは、秋葉区が観光協会に委託して配置するスタッフや秋葉区産業振興課職員、当館サテライトのスタッフが2名体制であっています。</p> <p>当館は8月からここに合流しましたが、前年同月比増となっています。10月がマイナスになっているのは、10月12日に予定されていた「にいつまるごと鉄道フェスタ」が台風19号の影響を受けて中止となったため、このイベントがあった昨年と比べて大きく減ったためです。この案内所では、来館者に聞き取り調査を行っており、それによると約4割が県外客で、青春18きっぷの利用者が乗り継ぎなどで立ち寄り例、また当館への立ち寄りが多いとのこと。秋葉区としては、区内への観光客などに対する情報収集および情報発信の場として重視しており、今後も活用していきたいとのこと。です。</p> <p>別紙2-5につきましては、後段で説明させていただきます。以上、令和元年度上半期事業報告でした。</p> <p>続きまして、アンケートの集計結果を報告させていただきます。</p>
<p>岩野学芸員</p>	<p>別紙3のアンケート集計についてです。だいたいいつもと同じですが、今回は、前の運営協議会で項目追加のご意見をいただいた「印象に残った展示」を追加しています。</p> <p>最初のページですが、入館者については、5月の10連休で多くいらしたというのが有意に表れています。県外からのお客様が普段よりも多くなったというのはこの影響もあるのかなと思っています。世代別の下の円グラフ等は例年どおりの傾向です。来館区分のところの「家族による利用」が圧倒的に多いという傾向は当館の特徴です。</p>

	<p>3 ページめ、どこから来ましたかという点は、県外かのお客様が多いという傾向と、市内では秋葉区内の利用が多いという傾向が表れています。来館目的では、市内では家族サービスが多く、県外では、鉄道旅行、観光旅行と旅行目的の人が多いというのは例年どおりの傾向です。</p> <p>市内で行ったことのある博物館等、また行ったことのある全国の鉄道関係博物館という項目では、市内では、その他に区分されていたアグリパークとマンガ・アニメ情報館が多い傾向がはっきりしてきました。また、全国の鉄道系博物館では、大宮の鉄道博物館がダントツですが、碓氷峠鉄道文化むらが 2 位につけて、そのほかで京都とリニアが分ける感じでしたが、今回は京都が伸びています。</p> <p>印象に残った展示という点では、シミュレータと 200 系新幹線を挙げる人が多くいます。アンケートを建物の中でとっているせいもあると思いますが、ミニ S L の利用数が伸びている割には、アンケートの方は伸びてはいません。記述式回答の主な回答です。「良かった点」では、「思ったより楽しめた」「地域の鉄道資料が充実していて大規模館と違った切り口なのがいい」「解説員などスタッフの対応が良かった」といった回答が、またミニ S L と E 4 系新幹線について良いという回答がありました。</p> <p>改善すべき点やお叱りに近い内容という点では、例年どおり、食堂など飲食ができる場所が欲しいという要望系や建物の基本的な古さによるバリアフリー化が十分でないといったご意見をいただいております。この他、実車の中をいつも見られるようにしてほしい、保存車両を増やしてほしいというご意見をいただいております。</p> <p>あと、利用マナーつまりシミュレータの順番待ちについて館が積極的に介入すべきでないかというご意見がありました。ミニ S L を大規模に周回できるようにしてほしいという意見もありました。</p> <p>かつて常設展でつくった展示が 5 年も経つと、未来のものとして作ったものが過去のものになっている部分もでてきて、それらをご指摘いただいております。これらはじっくり直していきたいと考えています。アンケート集計については以上です。</p>
金山座長	委員のみなさん、各報告事項に何かご質問・ご意見がありますでしょうか
野本委員	ミニ S L の料金はいくらでしたか？
岩野学芸員	100 円です。
金山座長	入館者が増えたんですね。それは連休の影響ですか。
高山館長	連休は 1 日 1,000 人ぐらいつつ入って 1 万人になりました。その分スタッフは大変でしたけれど。
金山座長	アンケートで E 4 系が人気ということで、それは狙いどおりなのでしょうか。いわゆるキーとなるような展示品が大事で、それが E 4 系ですか。
岩野学芸員	館長の尽力で、運転席での写真撮影不可という条件付きですが公開できるようになったというのが、話題づくりに貢献していると思います。

金山座長	マスコミとかに「目玉は何でしょう？」と聞かれることがあります。そうしたときにすぐ答えられるものがあるといいですね。ほかにありますか。
沢野委員	サテライト（あ！キハ）の来館者数は、観光部門でカウントしている人数と重複していますか？
岩野学芸員	重複しています。
沢野委員	できれば、その断り書きがあったほうが良いと思います。
高山館長	当館側で集計している数字はレンタサイクルと当館への道順の問い合わせとなっていますが、観光側で集計している数字はこの数字を含んで大きい数字となっています。当館側の数字としては重複しているとは認識していません。
金山座長	よろしいですか。ほかにありますか。
奥原委員	アンケートの印象に残った展示というところで、家族連れが楽しめる「体験もの」が人気なのは、鉄道博物館と同じなのかなと思いました。企画展示はうちのアンケートでもそんなに上がってこない傾向が同じなのかなと思います。博物館は本来そこで評価されないといけないと思うのですが、数字ではなく内容の評価がうまいかたちで示せないものか、満足度というのでしょうか、そのあたりが表せないかなと思っています。
金山座長	年齢層別でクロス集計してみて、企画展をリピーターして来てくれる人がどういう層か出してみるといいかもしれないですね。
岩野学芸員	そうして出た層にどのような評価をされているかで、分かる部分がありますね。次回出してみたいと思います。
奥原委員	そこを出しておかないと一過性で終わってしまうので、博物館の評価をはかる指標として重要ではないかと思っています。
金山座長	ほかにありますか。
齊藤委員	今、お話のあった年齢別や性別とその評価のなどのクロス集計が出てくれば、今後の運営にいろいろ活かせるのではないかと思います。
岩野学芸員	年令とリピートは取れるのですが、性別は今とらないようにしようと言われています。年齢とリピート、家族と来ているかどうかはクロス集計してみたいと思います。
金山座長	性別はジェンダーのこととありますからね。
齊藤委員	それにしてもシミュレータが人気の2位とは意外でした。
奥原委員	鉄道博物館だとシミュレータはだいたい1位ですね。シミュレータなど自分で操作できるものが上位に来ます。
金山座長	シミュレータは、故障はないですか？
高山館長	小さなものは学芸員が直しています。手に負えないものは、業者に修繕を頼んでいます。前は東京の業者にお願いしていましたが、JRがシミュレータの修理を頼んでいる業者を紹介してもらって、今は新潟の業者に修理を頼んでいます。
金山座長	これだけ人気だとオーバーワークになるでしょう。
高山館長	主にお子さんが使うので、雑に扱われて壊れやすいですね。

金山座長	社会教育として、扱い方を指導してやるというのも大事なのではないのでしょうか。
高山館長	元気なお子さんがたくさんいて止めるわけにもいかず…ですね。
金山座長	ボランティアの方がいるときめ細かくできるのでは？
高山館長	ボランティアの方の力をお借りできるときは、ご協力いただいています。
南雲委員	E4系の運転席の写真禁止は、現在も運行中のためでしょうか。これが解禁になるのはいつ頃になりそうでしょうか。
高山館長	2年くらい先になるのではないかと考えています。
南雲委員	アンケートの項目をリピートする仕掛けづくりに活かしていけないかと考えています。また、アンケートの項目が増えすぎると答える方も大変になってくるので、不要な項目は整理することも必要だと思います。
金山座長	アンケートは単年ごとに結果を見せてもらっていますが、経年的な変化を見てみたらどうでしょう。
岩野学芸員	サンクスフェアのチラシを幼稚園・保育園へ重点的に配ったり、周辺の温泉宿泊施設にパンフレットを置いてもらったりしていますが、そうした働きかけがどう経年変化に表れているかについても見てみたいと思います。
南雲委員	わたしが携わっているバスツアーでは、アンケートで「次はどこへ行きたいですか？」と聞いています。「今回は、あなたの意見を採用！」というかたちで決めると、お客様みんなが私のバスツアーをつくっている・参加しているという感じを持ってくださいます。同じように、「次は、どんな企画展を見たいですか」と聞いて意見を取り入れるようにすれば、お客様も一緒に展示をつくっているような感覚になって、また来てもらえることにつながるのではないのでしょうか。
金山座長	観光は周遊させることが大事で、点と点ではなく、点と点をつなぐルートをつくるのが大事。別の資源だと思っていたものがうまく線につながるかもしれません。そこに新津の商店街などをつなげられるといいですね。
帆苺委員	商売をやっているので、お客様の意見はありがたいです。お聞きして使わせてもらっている。
金山座長	お客様の苦情は宝の山というお話もあります。それでは、アンケートの経年的変化について見られるようにしてもらえますか。ほかになれば、事務局から下半期の事業計画についてお願いします。
加藤副館長	<p>それでは令和元年度下半期事業計画ということで、資料の別紙4をご覧ください。</p> <p>例年秋に、総合車両製作所新津事業所、JR新津駅、新津運輸区、新津観光協会などと日を合わせて、全体を「にいつまるごと鉄道フェスタ」として開催をしております。それを今年は10月12日に予定しておりました。先ほど、サテライトの説明で申し上げましたように、台風19号の影響を受け、新津駅でのイベントは中止となりましたが、当館は、大熊先生の講演会と実物車両の公開、鉄道模型運転会が中心でしたので、予定通り開催しました。</p> <p>実物車両の車内公開は冬季間お休みとなりますので、ご覧のような屋内での</p>

	<p>企画が中心となります。普及教育関係では、例年のばんえつ物語号出張講座のほか、中学校の職場体験の受入、ボランティア育成講座のほか、岩野さんが会津若松市の市制120周年記念事業「会津若松と鉄道」の講師を務めました。</p> <p>5、その他のところになりますが、四国鉄道文化館との交流事業として、11月23日・24日に伊予西条鉄道フェスタへ新津鉄道資料館として出店し、PRをおこなってきました。</p> <p>なお、主催事業ではないので、先の令和元年度前期の事業報告に記載しませんでした。7月の当館のサンクスフェアに、四国鉄道文化館のほうから館長さんがいらしてPRをされています。</p> <p>11月のAED受贈とありますのは、例年、一般財団法人生命保険協会新潟県協会が県の公共施設にAEDを贈呈するという事業をしており、今年度新潟市の施設にお声がけいただき、手を挙げたところ、いただくことができました。11月13日に200系新幹線とC57の前で贈呈式をおこないました。28日にはメーカー担当者から来ていただき、職員向けの講習会を開催しました。以上が令和元年度下半期事業計画のご説明です。</p>
<p>金山座長</p>	<p>質問、ご意見はありますか？ なければ、令和2年度事業方針、事業計画について一括して説明をお願いします。</p>
<p>加藤副館長</p>	<p>それでは別紙5、令和2年度事業方針概要（案）をご覧ください。</p> <p>全体の方針の部分は今までと変わりはありません。</p> <p>具体的な取り組みの部分からご説明します。</p> <p>来年度の特別展案として「新潟を走った特急・急行～優等列車の地域史」を予定しております。</p> <p>例年、この特別展は夏休み期間にあわせたかたちで開催してきましたが、来年度は、後ろの方にはずらして、会期の終わりが、秋の鉄道フェスタに重なるようなかたちで開催したいと考えています。</p> <p>これは、夏休み期間中は多くのご家族連れに来ていただける一方、9月～10月の来館者数が減る傾向がみられることから、夏休み期間中はターゲットをお子様連れのご家族にして、小さなお子さんに喜ばれるトイトレインレイアウトの設置やそうしたご家族向けの「ママ鉄・パパ鉄向け」の事業などを行い、少し落ち着いた秋に入ったら、大人の方が楽しめる展示を行い、秋の鉄道フェスタに訪れた方々にも見ていただけるように、また、特別展のテーマに沿った記念講演会も毎年行っていますが、これも関連する内容として行いたいと考えております。</p> <p>ページをめくっていただき、2・その他展示のひとつめのトイトレイン設置は今の説明に関連したもので、夏休み期間中の小さなお子様向けの取り組みの強化の一つです。</p> <p>夏休みの親子向けとしましては、今までも鉄道模型走行会の中で運転体験をやる場合があったのですが、こうした運転体験ができるなどの点を前面に出すことで、集客に努めたいと考えています。</p> <p>例年、夏休み期間中は、毎週火曜日の休館日を休館せずに臨時開館していま</p>

	<p>したが、火曜日休館が定着しているためか、火曜日は来館者数が少ないというのが実情です。このことから来年度はお盆の週を除きまして夏休み期間中の火曜日臨時開館を止める方向で考えています。</p> <p>お配りしました資料の別紙2-5に示しましたが、令和元年度7月・8月の曜日別の来館者数をまとめたものです。それぞれの火曜日のところを見ていただきますとかなり数字が小さくなっています。8月の第3週は多くなっていますが、これは備考欄にもありますようにお盆の8月13日にあたっているためです。このことから、来年のカレンダーですと8月11日がいわゆるお盆期間の火曜日に当たりますので、この日は臨時開館し、ほかの火曜日はお休みさせていただくことで考えております。</p> <p>資料は別紙5に戻っていただきまして、次に、調査研究の欄です。1つめの鉄道文化調査ですが、これは今まで鉄道OBの座談会をやりたいということで挙げていたものを、座談会形式として人数が多くなると、話題が逸れたり散漫になる恐れが大きいかなということで、1人ずつインタビュー形式で調査をおこなったほうが、資料にするための調査としてはやりやすいのではないかとということで、項目名を変えました。</p> <p>以上が、来年度の事業方針（案）です。</p> <p>こうした方針（案）に基づく事業計画（案）が、お配りしました資料の別紙6でございます。</p> <p>方針案でご説明しましたように、例年夏の特別展を秋に動かしたというところが大きなところでございます。そのかわり、7月・8月に企画展示室にトイトレインレイアウトを持ってくるというかたちです。この部分、奥原委員からご意見をいただきましたが、アンケートでご家族連れや逆に大人の方々からどのような反応をいただけるかみながら運営をしていきたと考えております。</p> <p>申し訳ございません、一つ抜かしていました。今年度後期の事業計画で説明してもらしたところがありました。</p> <p>別紙4の右下の部分です。その他の部分ですが、今年度ほかの博物館資料館との交流という点で、2か所に資料の貸し出しを行っています。今、ちょうど開催中ですが、東北福祉大学の鉄道交流ステーションの企画展「雪との闘い」と、森アーツセンターギャラリーで開催されている「天空の鉄道物語」、に資料貸し出しをしています。</p> <p>以上、今年度の下半期と来年度の事業計画案についてのご説明でした。</p>
<p>金山座長</p>	<p>それでは残りの時間がまだございますので、皆さんからご質問やご意見をいただきたいと思っております。</p>
<p>帆苺委員</p>	<p>この資料館というよりも、新津の観光施設に関してのお話ですが、英語で観光案内をつくりたいということで完成しました。手作りのもので駅の観光案内所に置いてありますし、ネットでも見られるようになっています。</p> <p>どうしてつくったかといいますと、国際文化交流クラブが今年20周年を迎え、その中の英語サークルで、作りたいねとの話が出て作りました、ということがありましたので、報告させていただきます。</p>

金山座長	ここ（鉄道資料館）へも置かせてもらえばいいじゃないですか。 外国の方はけっこう来るんですか？
高山館長	来ます。
斉藤委員	一階に貼ってある「どこから来ましたか」のシールの傾向のとおりですか。
高山館長	東南アジアだけでなく、ヨーロッパからも来ていますが、言葉でのトラブルはありません。身振り手振りでもとりあえずはしのいでいるというところですよ。 資料館を見るという目的をもっていらしているのです、だいたいはわかってもらえるみたいです。
金山座長	インバンド対応で、新潟市には多言語化の方針とかあるのでしょうか。
小沢課長	それぞれの施設でばらばらですね。と言いますのもスマホで撮って翻訳してくれるものもあるので、新潟を訪れる外国人の方をみると活用されている方がいらっしやいます。ですので、我々が変な英訳をするよりも、よっぽど使い道があると言われていています。とはいえ、市としてはなるべく多言語表記をする方向です。
金山座長	多すぎてもよくないでしょうが、英語くらいは出しておいた方がいいでしょうね。
高山館長	当館も1階部分で4か国語はキャプションのところで出すようにしています。
金山座長	必要があれば、文化庁・観光庁が出している補助金を使う方法もありますね。
高山館長	その辺、鉄道博物館さんは結構やっぴらっしやいますか。
奥原委員	昨年リニューアルした際に、鉄道博物館アプリというものを作りまして、そこで4か国語（英、簡体字、繁体字、ハングル）でフロアガイドをしています。紙のフロアガイドは8か国語で案内しています。館内に外国語に対応できるスタッフを配置するようにしていますが、入れ替わりもあるので1人か2人です。 出版社の方のお話だと、今まで、外国人むけのガイドブックでは関東だと東京と神奈川（箱根、江の島）だけが紹介されていたけれど、ここ数年で埼玉がようやく取り上げられるようになり、川越か鉄道博物館が紹介されるようになったということです。何回も日本に来られる方は、それまでとは違う所へ行きたいようで、それで埼玉が取り上げられることになったようです。こうした流れで新潟にもインバウンドの方が増えるのではないかと思います。外国の方は新幹線に関心を持っている方が多く、新幹線がどういうもので、どういう歴史があるのかといったところを知りたいようです。200系、E4系などをインバウンド向けにアピールしていくと良いのではないかと思いますし、それには「雪への対応」も入ってきますから、そういうところで地域性を出せるのではないかと思います。 オリパラに向けて外国の方が増えると思いますので、そういう意味ではいいチャンスなのではないでしょうか。
金山座長	外国人が訪れる日本の観光地100選をパラパラ見ていたら、鉄博が出ていて、びっくりしました。

奥原委員	ちょっと前まで、「埼玉なんて誰も…」という感じだったのですが。
金山座長	今や東京や日光と並んでいるというのはすごいですね。鉄道ファンは世界中にいるわけだから、鉄博に行った人が新津にまた来てもらえるようになるといいですね。新津鉄道資料館のパンフレットは鉄博に置いてあるんですか？
奥原委員	置かせてもらっています。
南雲委員	来年のオリパラの時期に、もしかして佐渡金銀山の世界遺産推薦が見えてくるあたりになるかと思えます。推薦がもらえれば、2022年の世界遺産登録の可能性も出てきます。また、来年春には、ミシュランガイドの新潟版が出るとのことで、また別な角度からお客さまが入ってくるのが考えられます。2023年には新潟駅のリニューアルが完成するということで、オリンピックのあたりからお客さまが増えてくるというところで、さまざまな対応が求められてくるかもしれませんね。
帆苺委員	わたしたちは、お役所に言われてやるのではなく、自分たちでやりたいねということで、さきほどの英語版ガイドをつくりました。
斉藤委員	奥さんが外国人の方とかいませんか？
野本委員	そうした方もいらっしゃるし、商店街にもイタリア人の方がレストランをやっています。
金山座長	資料館と商店街の連携を外国語対応というところでも進めていけると良いと思います。
野本委員	今、先生から資料館と商店街の連携のお話が出ましたが、今年は、新潟経営大学のアルバニア人の先生が、学生さんを連れて来たので、鉄道資料館と鉄道商店街の関係についてご説明しました。その後、新潟大学の学生さんも調査にいらして、また阪南大学の先生もいらして、商店街とまちづくり、資料館との関係について聞いて行かれました。さらには、大宮駅の方々もいらしています。 新津の問題は、宿泊場所がないことなのです。商店連と商工会議所でゲストハウスをつくるべく動いたのですが、土地の所有者が見つけれず頓挫してしまいました。観光で来て「どこへ泊ればいいんですか？」という話はけっこう多いので、問題点をクリアして再構築できないかと思っています。
斉藤委員	来年度の事業で、ママ鉄・パパ鉄向けとして、いつ・どのようなというようものを館の方で考えているのでしょうか。
加藤副館長	時期としては、夏休み期間中に小さなお子様連れのご家族が多くいらっしゃるの、そのあたりと考えています。詳細は詰まっていません。秋葉区でも観光交流戦略プランを考えていて、鉄道の分野では「ママ鉄層を取り込めないか」という意見が出ているところです。鉄道が好きなお子さんをきっかけに保護者の方にも興味をもってもらうのが狙いです。小さなお子さんが自分で資料館へ来ることはなく、保護者に連れてきてもらうということもありますので、呼び水になるよう、今の段階では講座みたいのがいいのかなと考えているところです。新潟地域は車社会で、家族と一緒に電車に乗って、その中で乗車マナーを学ぶという機会が少ないように感じますので、こういうのをきっかけに乗車マナーを学んでもらうことにもつなげられないかなと考えています。ターゲット

	とする年代をさらに絞るとか、その辺の検討はこれからです。
斉藤委員	ボランティア事業も夙づくりとシミュレータが2年やっているのですが、新しいものにも連携して取り組めたらと思います。
金山座長	ボランティアは育成中なのですか？
岩野学芸員	いいえ、毎年新しい人が加わって継続しています。
金山座長	今、何人くらいいるのですか？
岩野学芸員	今は、アクティブな人は20人いかないくらい
加藤副館長	登録は19人です。
金山座長	うまくやれていますか？
岩野学芸員	はい。自主事業をやらしてもらったり、徐々に新しいことをやらしてもらったりしています。シミュレータ選手権は名物になりつつあります。採点が非常に厳しいことで一部に有名になりましたが、今年は改善して皆さんに楽しんでいただけたようです。
金山座長	<p>そういうパートナーという関係になるようにした方がいいですね。館がボランティアの面倒をみるということになってくると続かないので、パートナー関係がいいと思います。</p> <p>ご質問、ご意見はよろしいでしょうか。その他がなければ、事務局に進行をお戻しいたします。</p>
高山館長	<p>皆さん、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>これも金山座長の進行のおかげと存じます。ありがとうございました。</p> <p>それでは、以上をもちまして、令和元年度第二回の運営協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>